

コニカミノルタグループ 2005年3月期 第3四半期決算説明会

2005年2月2日

コニカミノルタホールディングス株式会社

常務執行役 本藤 正則

● 本資料の記載情報

- ・ 本資料の04年度第3四半期実績は4月から12月の9ヶ月累計実績から上半期実績を差し引いて算出しております。
また、前年度上半期実績については旧コニカと旧ミルタの合算値を使用しております。
- ・ 本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

● 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想、将来予想は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。

業績サマリー



KONICA MINOLTA

【億円】

	a 05.3 3Q実績	b 04.3 3Q実績	a/b 伸張率	c 05.3 3Q計画	a/c 達成率
売上高	2,634	2,821	93.4%	2,716	97.0%
売上総利益	1,196	1,133	105.6%	-	-
営業利益	185	183	101.1%	225	82.2%
経常利益	158	153	103.3%	200	79.0%
当期純利益	83	106	78.3%	100	83.0%

EPS 15.58円

ROE(年間) 9.6%

P/L為替レート			増減		増減
US \$	106	109	-3円	107	-1円
ユーロ	137	129	+8円	130	+7円

	05.3 3Q実績	04.3 3Q実績	増減
設備投資(資本的支出)	101	88	13
減価償却費	127	158	29
研究開発費	158	151	7

業績概況

前年との比較では情報機器が伸び悩んだが、オプト/フォト/メディカルなど他事業分野が健闘し、ほぼ前年並みの営業利益は確保した。

一方、計画比では売上はほぼ計画通りであったが、営業利益における情報機器の下振れが大きく、40億円の未達となった。

- 情報機器 : MFPは、カラー機が好調ながらモノクロ中高速領域での競争が激しく、プリンタも新製品切り替えの影響もあり、トータルで伸び悩む。
- オプト : 光ピックアップレンズ、DSC/VCR用レンズユニットは在庫調整続くが、液晶用TACフィルムが堅調に推移し、前年比で減収減益ながら計画比では売上・利益とも達成。
- フォトイメージング: フォト関連は需要縮小続くも黒字確保。カメラはデジタル一眼レフ及び構造改革などが寄与し、黒字転換。ただし、コンパクトは想定以上の競争激化で苦戦。

統合関連・経営施策

各地のIT統合はほぼ完了し、管理職に引き続き、一般社員の新人事制度も05年4月から施行するなど、予定通りの進捗。

情報機器では重合トナー新プラント、オプトではTACフィルムの第3工場の増設など成長分野での積極投資を進める。

セグメント別 売上高・営業利益



KONICA MINOLTA

【億円】

	売上高					営業利益				
	05.3 3Q実績	04.3 3Q実績	伸張率	05.3 3Q計画	達成率	05.3 3Q実績	04.3 3Q実績	伸張率	05.3 3Q計画	達成率
情報機器	1,356	1,665	81.4%	1,477	91.8%	120	155	77.4%	170	70.6%
オプト	225	254	88.6%	222	101.4%	40	49	81.6%	40	100.0%
フォトイメージング	731	591	123.7%	680	107.5%	14	17	-	0	-
メデikal&グラフィック	291	284	102.5%	307	94.8%	11	5	220.0%	20	55.0%
計測	11	11	100.0%	14	78.6%	2	2	100.0%	5	40.0%
HD他	20	16	-	16	-	2	11	-	10	-
グループ計	2,634	2,821	93.4%	2,716	97.0%	185	183	101.1%	225	82.2%

セグメント別 特殊要因



KONICA MINOLTA

売上高			【億円】			
	05.3 3Q	04.3 3Q	a 増減	b 為替影響	c 決算期変更	a-(b+c) 実質増減
情報機器	1,356	1,665	309	11	226	94
オプト	225	254	28	2	0	27
フォトイメージング	731	591	140	5	169	34
メディカル&グラフィック	291	284	7	4	0	11
計測	11	11	0	0	0	0
HD他	20	16	4	0	0	4
計	2,634	2,821	187	10	57	141

営業利益			【億円】			
	05.3 3Q	04.3 3Q	a 増減	b 為替影響	c 決算期変更	a-(b+c) 実質増減
情報機器	120	155	35	5	5	35
オプト	40	49	9	1	0	8
フォトイメージング	14	17	31	10	0	21
メディカル&グラフィック	11	5	6	3	0	9
計測	2	2	0	1	0	1
HD他	2	11	9	1	0	9
計	185	183	2	12	5	5

販売費及び一般管理費増減

	【億円】			
	a	b	c	a-(b+c)
	05.3 3Q 実績	04.3 3Q 実績	連結処理統一	実質 増減
販管費総額	1,011	950	40	21
販売費	222	203	0	19
人件費	405	425	0	20
研究開発費	158	151	0	7
その他	226	171	40	15

製造も含めた総人件費は対前年比22億円の減少

為替影響額： 4億円(費用増)

営業外収支増減

【億円】

	05.3 3Q	04.3 3Q	増減
営業外収支計	27	30	3
受取利息・配当金	3	2	1
支払利息・社債利息	14	18	4
棚卸資産処分損 為替損益	1	6	5
その他	24	9	15
	9	1	8

事業概況(情報機器)

事業概況

MFPは、カラー機が好調ながらモノクロ中高速領域での競争が激しく、プリンタも新製品切り替えの影響もあり、情報機器トータルで伸び悩む。

MFP事業

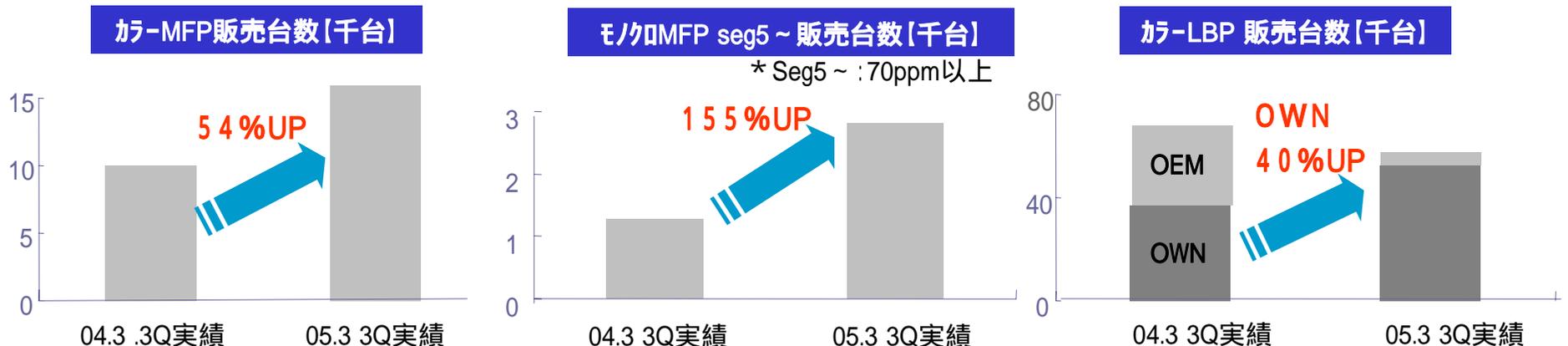
カラーMFPは、新製品「bizhub C350」の販売は依然好調ながら、基幹部品の納入不足によりバックオーダーを抱える。(調達体制の整備により部品納入数確保の目途がたち、4Qにはバックオーダー解消の見込み。)

モノクロMFPは、新製品「bizhub PRO1050(105枚/分)」を発売し、注力分野である高速領域(Seg5)での販売が伸長。低速領域(Seg1)の販売も回復したが、中高速領域(Seg2~4)での競争激化により全体では減少(前年比 5%)。

プリンタ事業

カラーLBPはOEMの販売台数は減少したが、新製品切替えてOWNビジネスは販売台数を伸ばす。旧製品の売り切り等に伴い採算悪化したが、新製品2機種(5枚機・21枚機)を投入し、商品ラインアップの強化とともに4Qでは収益性改善を図る。

注力分野の販売数量



事業概況(オプト)

事業概況

光ピックアップレンズ、DSCレンズが顧客サイドの需要減少により伸び悩んだが、液晶用フィルムの伸長により計画達成。

光ピックアップレンズ

顧客サイドの在庫調整は解消傾向ながら、対前年同期比の数量は下回った。

DSC/VCR用レンズユニット

DSC、VCR共に需要減少の影響により対前年を下回った。

携帯電話向けレンズユニット/カメラユニット

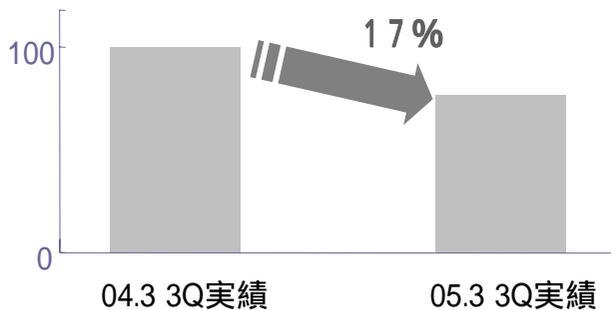
高機能対応の製品を中心に事業展開を行うが、低調な国内市場の影響で前年比減少。

液晶用フィルム

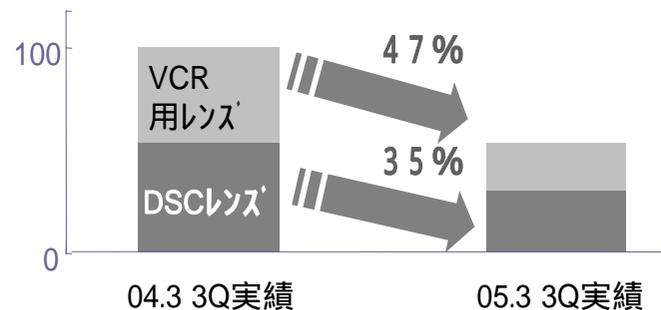
通常品/高機能品共に大幅伸張。

注力分野の販売数量

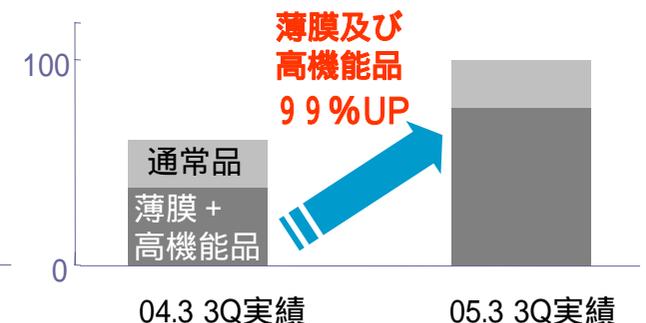
光ピックアップレンズ【指数】



DSC/VCR用レンズユニット【指数】



液晶用フィルム【指数】



事業概況(フォトイメージング)

事業概況

フォト事業は厳しい市況の中で販売健闘し収益維持。
カメラ事業も一眼レフ投入と構造改革により損益改善。

フォト事業

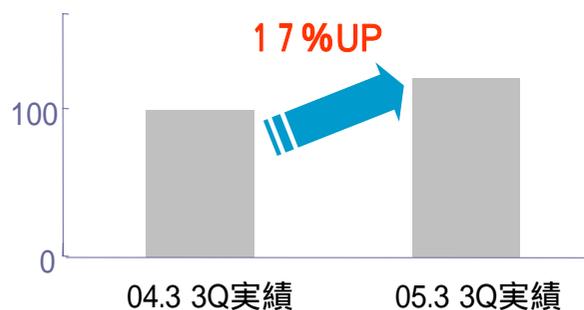
カラーフィルムは、総需要が引き続き減少する中、インド・アジアなどでの健闘により数量減少は対前年 7%に留まる。
デジタルミニラボは、「R1 SUPER/ R2 SUPER」が欧州・アジアを中心に引き続き販売好調。
印画紙は、アジアの一部市場での市中在庫が積み上がり、販売伸び悩む。
インクジェットペーパーは、国内外とも価格競争は厳しいが、堅調に増加。

カメラ事業

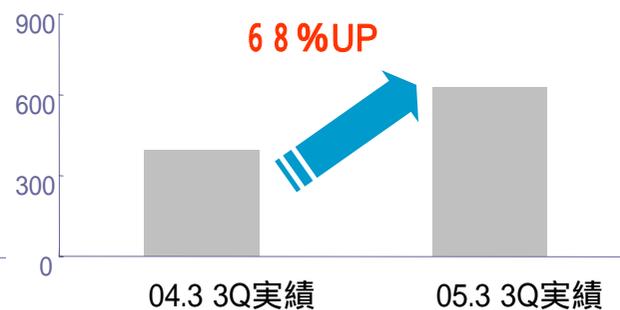
コンパクトは更なる競争激化で収益を圧迫したが、デジタル一眼レフ投入効果と合理化効果が寄与し、黒字に浮上。
ただし激戦が続き計画未達となったコンパクトについては、在庫調整と価格維持が4Qでの課題。

注力分野の販売数量

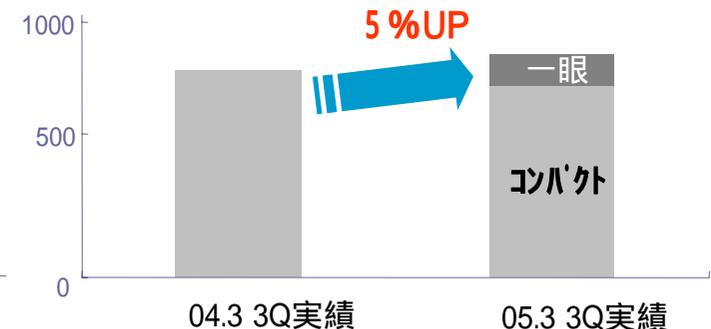
インクジェット用ペーパー販売数量【指数】



デジタルミニラボ販売台数【台】



DSC販売台数【千台】



事業概況(メ'ィカル&グラフィック、計測機器)

事業概況

メ'ィカル&グラフィック事業

医療分野は、デジタルX線入出力機器及びドライフィルムの販売が堅調。

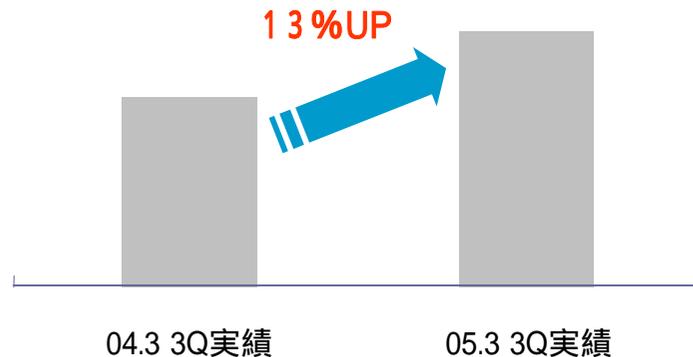
印刷分野は、国内外ともフィルムの需要減少の影響によりフィルム販売は低調。

計測機器事業

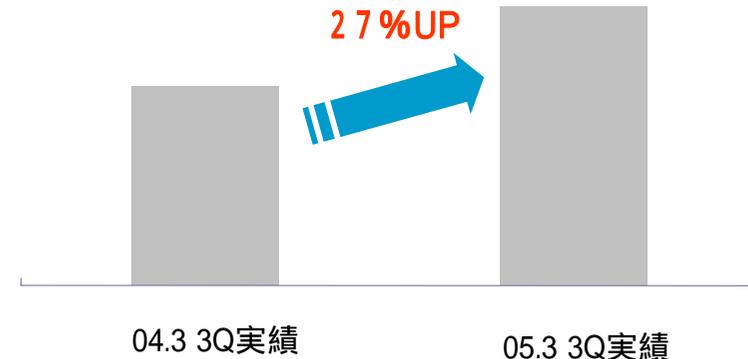
製造業の設備投資に減速感あり、全般的に販売は低調。

注力分野の販売数量

ドライフィルム販売数量[指数]



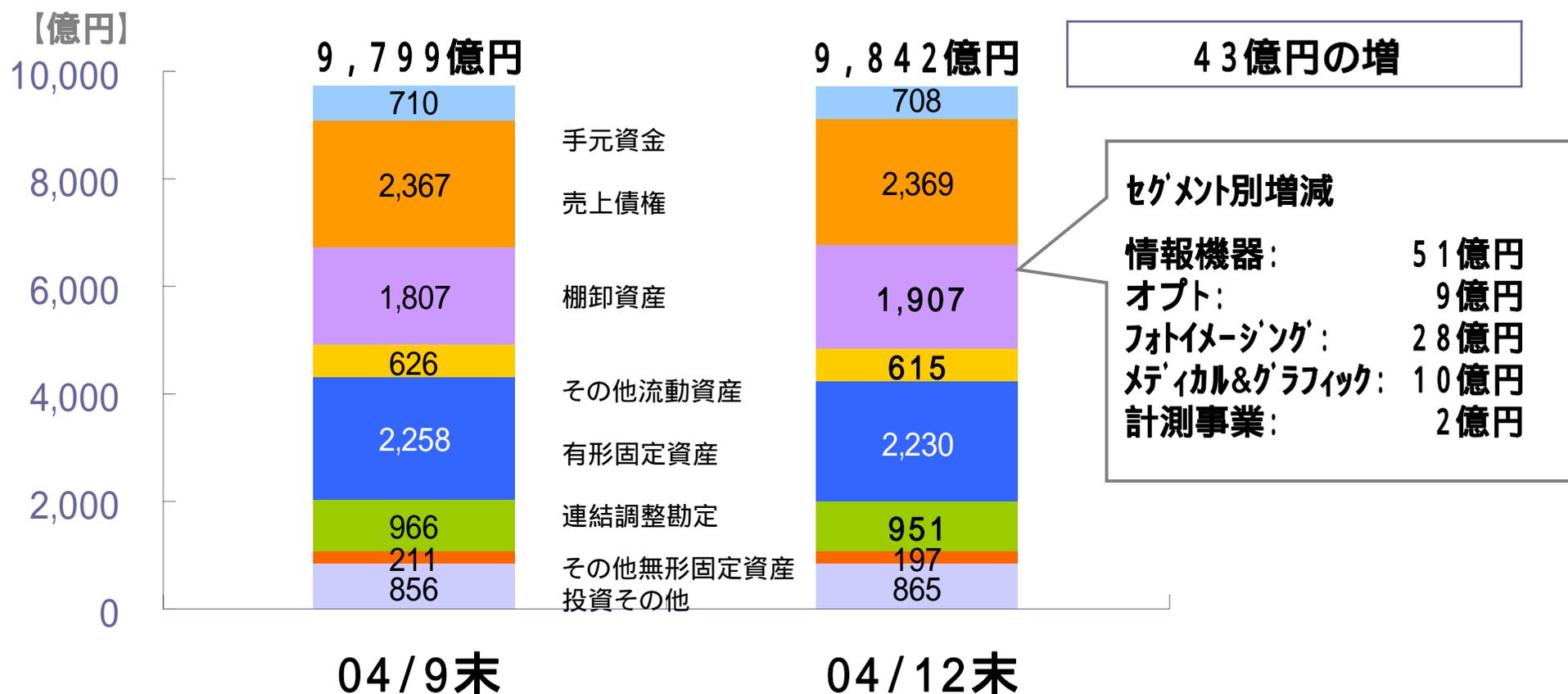
デジタルX線入出力機器販売台数[指数]



決算概要 - 連結BS (資産)

連結総資産対比 04 / 9末 vs 04 / 12末

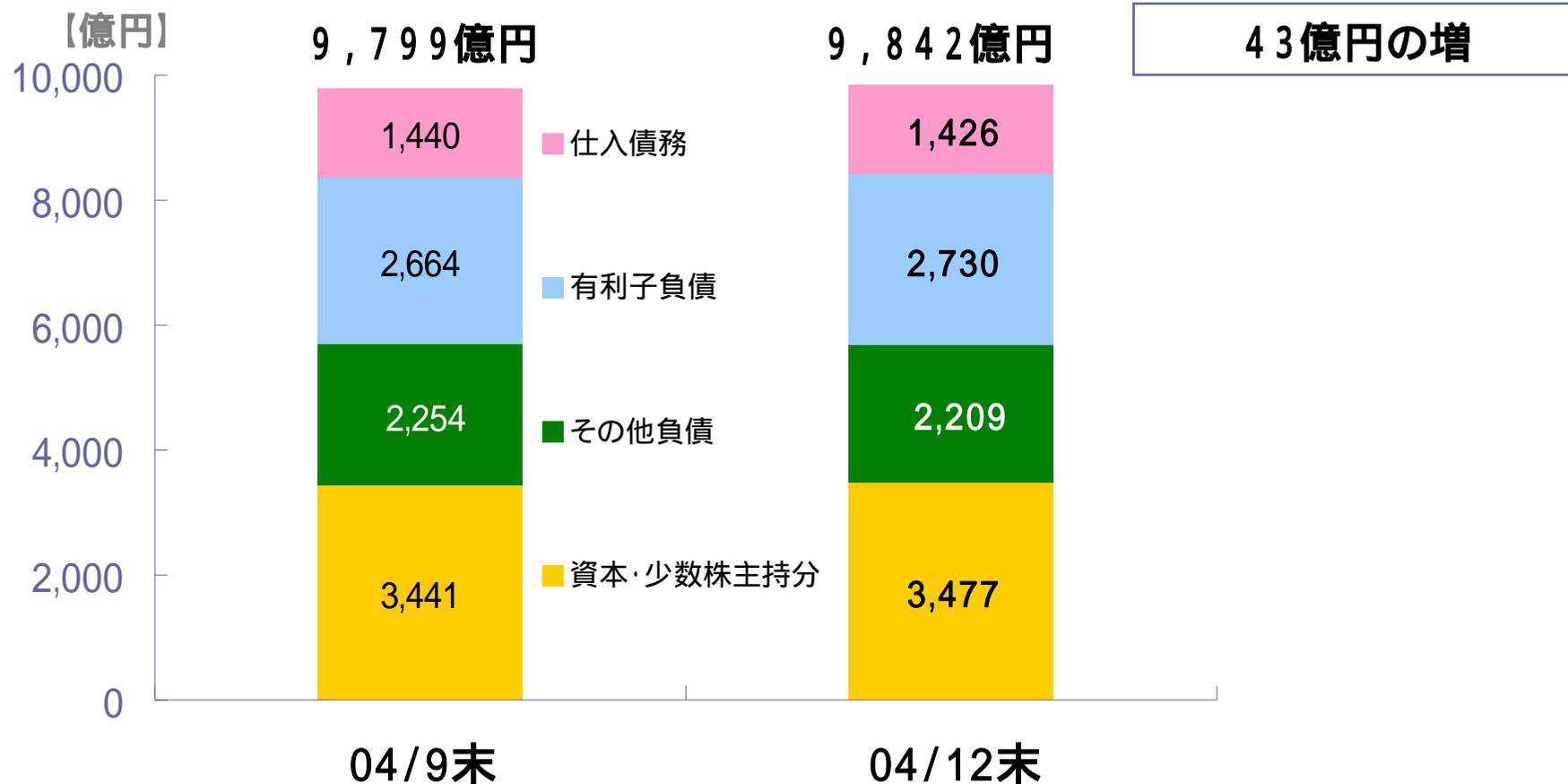
B/Sレ-ト	04/9末	04/12末	増減
\$	111円	104円	- 6円 (円高)
¥-円	137円	142円	+ 5円 (円安)



決算概要 - 連結BS (負債・資本)

連結負債・資本対比 04 / 9末 vs 04 / 12末

B/Sレ-ト	04/9末	04/12末	増減
\$	111円	104円	- 6円 (円高)
1-0	137円	142円	+ 5円 (円安)



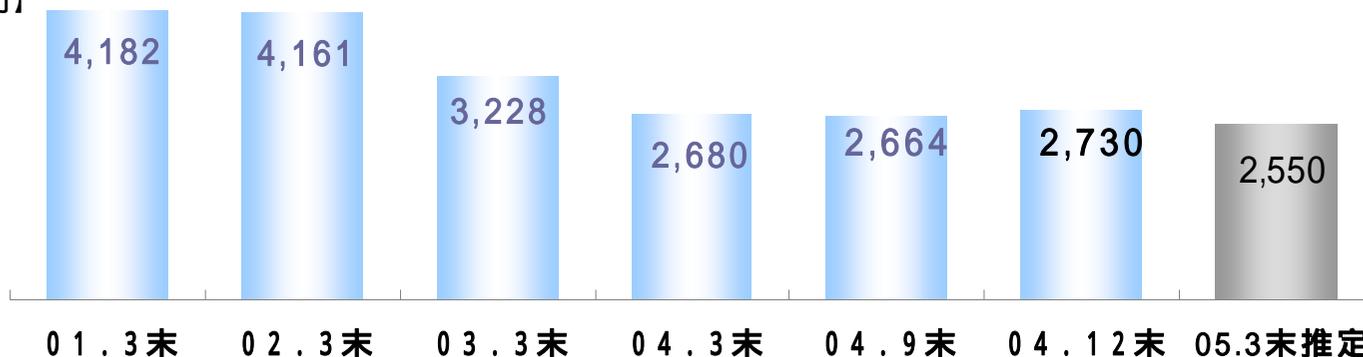
連結キャッシュフロー

	05.3 3Q実績	04.3 3Q実績	【億円】 増減
税金等調整前当期純利益	155	146	9
減価償却費	127	158	31
運転資本増減他	240	179	61
営業活動によるCF	42	124	82
投資活動によるCF	70	55	15
+ FCF	28	68	96
借入金・社債の増減	53	62	115
配当金の支払額	27	26	1
その他	0	1	1
財務活動によるCF	26	89	115

有利子負債・棚卸資産

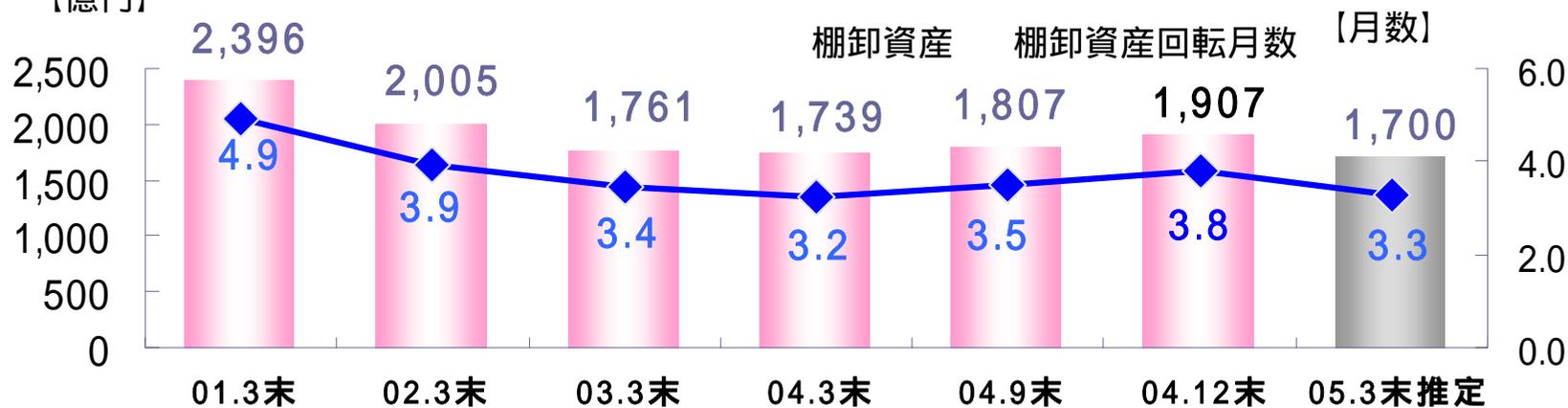
有利子負債残高の推移

【億円】



棚卸資産及び棚卸資産回転月数の推移

【億円】



棚卸資産回転月数 = 合算棚卸資産の期首・期末平均 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

統合の進捗

連結人員の推移

02.9 末実績	04.3末	04.12 末	(統集中計公表値)	
			05.3末	06.3末
37,300	35,200		33,600	32,600
計画	2,100		3,700	4,700
累計実績	34,710	33,820		
	2,590	3,480		

統合費用

	3Q実績	1-3Q累計	通期 (11月公表)	主な内容
販管費	8	30	38	移転・IT・広告宣伝他
営業外費用	0	2	2	パッケージ廃棄他
特別損失	1	27	34	人員合理化他
統合費用計	9	59	74	

別途、暖簾代償却費49億円あり(年間)

2004年度 通期業績予想



【億円】

	通期予想 (11月公表)	9ヶ月累計 (04年4月～12月)
売上高	11,000	7,985
営業利益	800	510
経常利益	700	440
当期純利益	250	165
設備投資 (資本的支出)	630	369
減価償却費	580	379
研究開発費	710	481

		下期計画	04.4月～12月平均
為替レート	US \$	107円	109円
	1-円	130円	135円

2004年度通期業績予想 - セグメント別

売上高

	05.3 予想		04.3 実績	
	通期予想 (11月公表)	9ヶ月累計	通期実績	9ヶ月累計
情報機器	5,900	4,170	6,258	4,648
オプト	960	665	858	646
フォトイメージング	2,720	2,159	2,777	1,964
メディカル&グラフィック	1,300	900	1,209	871
計測	55	37	80	65
HD他	65	54	54	43
合計	11,000	7,985	11,236	8,237

営業利益

	05.3 予想		04.3 実績	
	通期予想 (11月公表)	9ヶ月累計	通期実績	9ヶ月累計
情報機器	630	387	629	450
オプト	165	112	153	114
フォトイメージング	55	26	66	0
メディカル&グラフィック	90	54	79	52
計測	20	11	18	13
HD他	50	27	80	46
合計	800	510	732	583

参考情報 - 1 9ヶ月累計業績

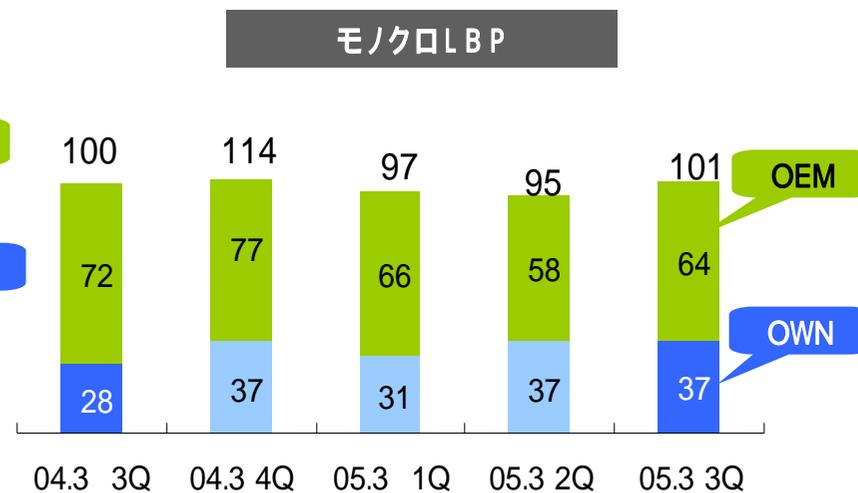
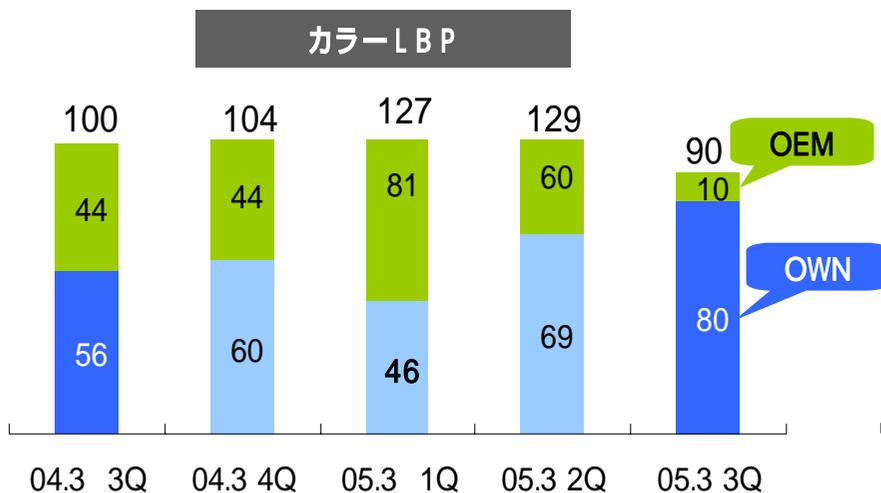
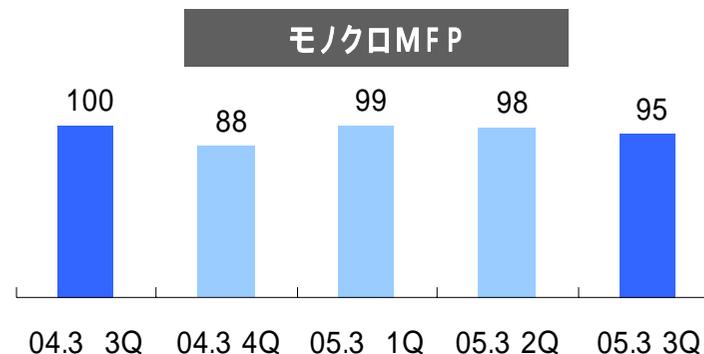
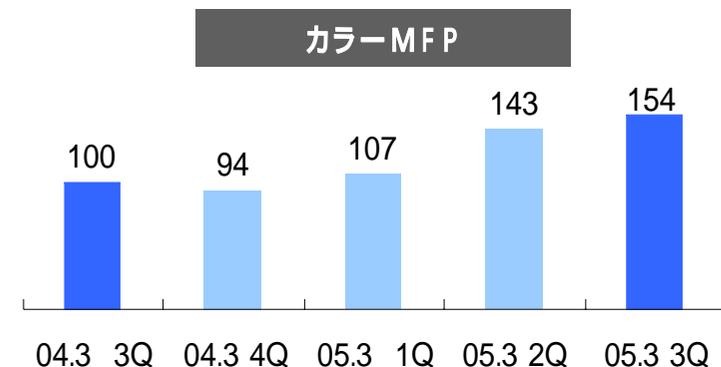
全社業績	a	b	c=a-b	d	e	f	g	c-(d+e+f+g)
	05.3 1Q-3Q実績	04.3 1Q-3Q実績	増減	為替影響	決算期変更	両社取引	暖簾代	実質増減
売上高	7,985	8,237	252	122	81	125	0	86
売上総利益	3,542	3,564	21	41	16	0	0	34
営業利益	510	583	73	17	5	0	24	26
経常利益	440	438	2	27	0	0	24	1
当期純利益	165	257	93	11	0	0	24	80

セグメント別	売上高						営業利益					
	05.3 1Q-3Q 実績	04.3 1Q-3Q 実績	為替影響	決算期変更	両社取引	実質増減	05.3 1Q-3Q 実績	04.3 1Q-3Q 実績	為替影響	決算期変更	暖簾代	実質増減
情報機器	4,170	4,648	71	226	125	56	387	450	6	5	21	31
オプト	665	646	8	0	0	27	112	114	6	0	1	5
フォトイメージング	2,159	1,964	27	307	0	85	26	0	1	0	1	26
メディカル&グラフィック	900	871	17	0	0	46	54	52	7	0	0	9
計測	37	65	0	0	0	28	11	13	0	0	1	1
HD他	54	43	0	0	0	11	27	46	1	0	0	18
グループ計	7,985	8,237	122	81	125	86	510	583	17	5	24	26

参考情報 - 2 主要製品販売数量トレンド

情報機器事業

04.3 3Q実績を100とした場合の指数

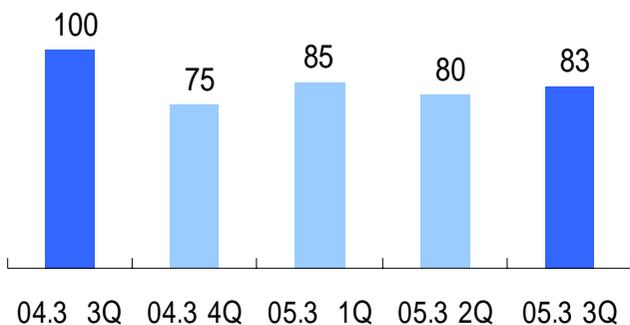


参考情報 - 3 主要製品別販売数量トレンド

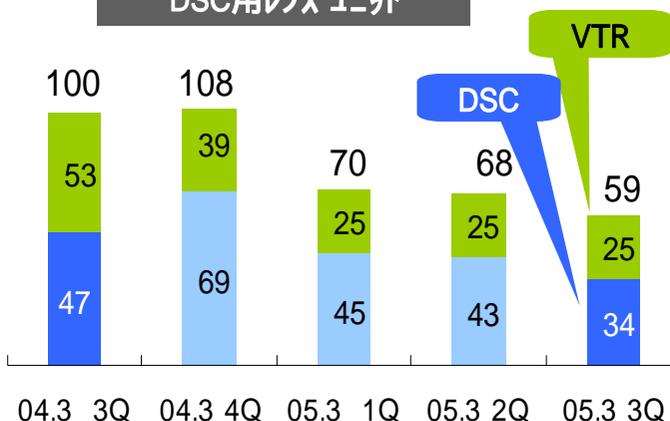
オプト事業

04.3 3Q実績を100とした場合の指数

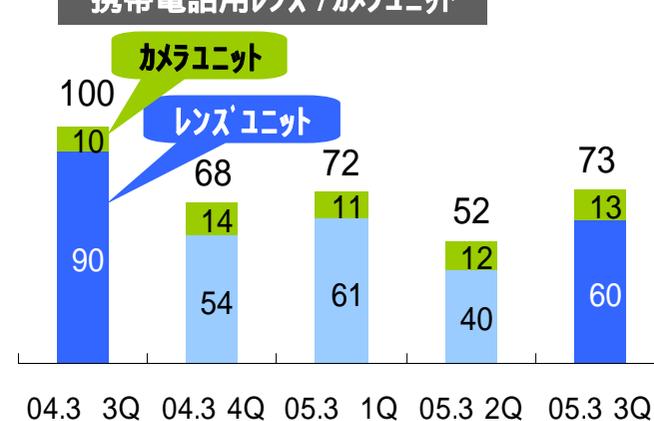
光ピックアップレンズ



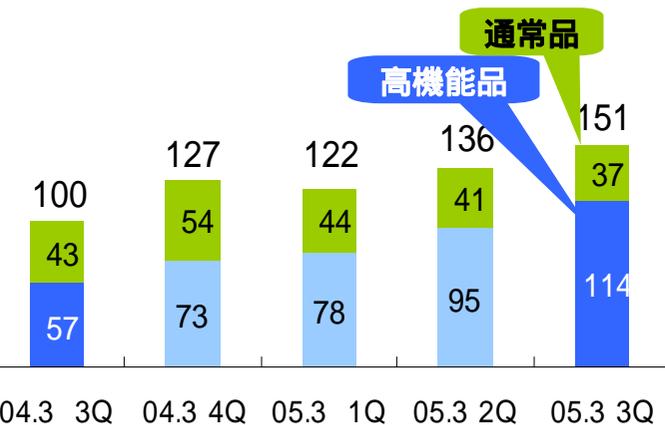
DSC用レンズ'ユニット



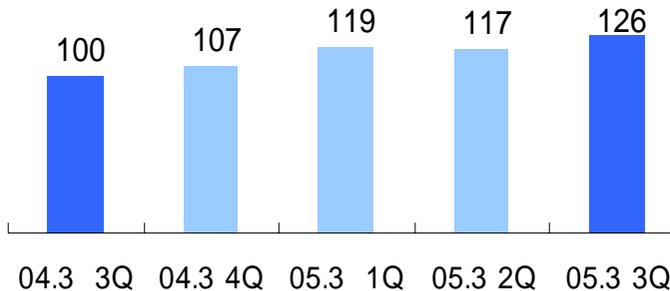
携帯電話用レンズ/カメラユニット



液晶用フィルム



ガラスハードディスク

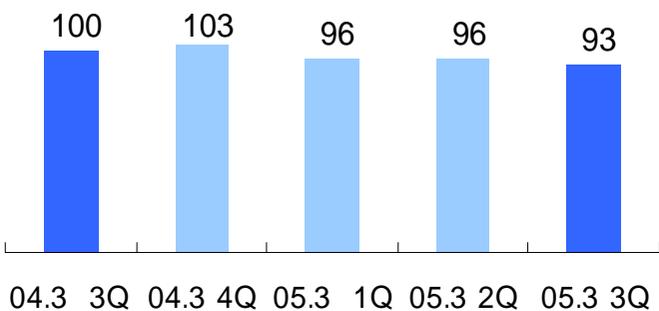


参考情報 - 4 主要製品別販売数量トレンド

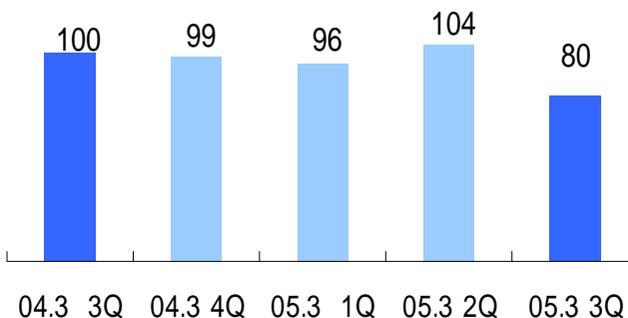
フォトイメージング事業

04.3 3Q実績を100とした場合の指数

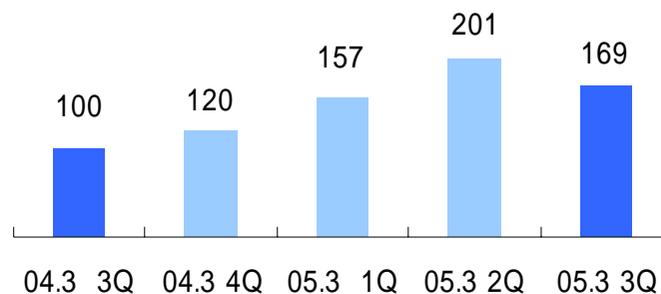
カラーフィルム



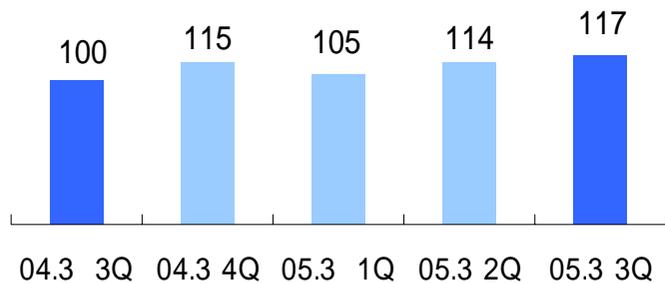
カラー印画紙



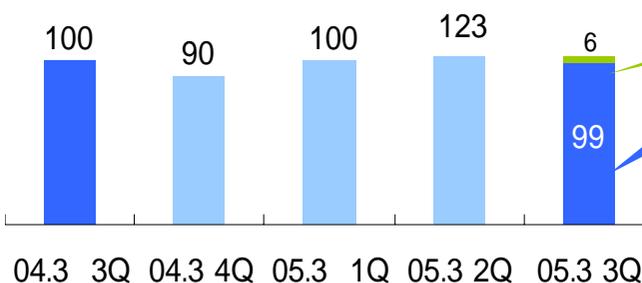
デジタルミニラボ



インクジェットペーパー



DSC



The essentials of imaging